

NTT労組退職者の会
大阪支部協議会

10周年記念誌



1998年11月14日～2007年9月30日

十年一昔という
しかし過ぎれば短く感じる十年
歴史を語り継ぐ節目としての
十年という周期は短いのか
長いのか
されど十年という足跡は
確実に残っている
「その間に、世の中がどう動き
何がどう変わったのか
検証し総括することが大切」とは
初代事務局長の
田宮氏からのメッセージ
資料不足もあり
欠ける面も多々あるが
大阪支部協の足跡として
過ぎし思い出に
少しは触れてもらえれば
幸いと思う



結成10周年に あたって

N T T 労組退職者の会
大阪支部協議会 会長 鷺谷 憲



N T T 労組大阪支部協議会は、本年10周年を迎えることができました。これもひとえに活動を支えていただいた会員の皆様をはじめ諸先輩の役員の方々やN T T 労組のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

N T T 労組退職者の会は1973年(昭和48年)に結成されて本年で35年を迎えることとなります。当初の組織形態は、当時の全電通に対応したものとして中央協議会・地方協議会・各支部に対応して支部協議会、が設置されていきました。大阪では全電通の5支部再編が行われ、退職者の会も5支部協議会で活動してまいりました。しかし、1998年(平成10年)12月全電通労働組合からN T T 労働組合となり、地方本部がなくなり一県一支部と組織改編され、退職者の会も労働組合に合わせて組織再編を行うことになりました。

大阪では関西中央支部・大阪北部支部・大阪東部支部・大阪南部支部・関西ネットワーク支部の5支部協を一つに統合し、1998年(平成10年)11月、労働組合より一足早く大阪支部協議会を結成しました。旧の5支部協はそれぞれ職域支部でしたから、地域に密着した活動を指向していくために2年間議論を重ね、大阪を4つの地域に分割し、ブロックと位置づけ、現在の「なにわ」・「北摂」・「河内」・「泉州」の各ブロックを構成して活動しています。

大阪支部協の活動は旧5支部協の長所を取り入れながら、親睦を深める行事や生活を守るための政治課題に取り組み、着実に前進してまいりました。今では事務所の常駐体制も確立され、会員の皆さんからの問い合わせに対応しています。行事の方は、「いきいき講座」に代表される支部協企画とブロック企画をかみ合わせながら、多彩な行事を開催してきました。全電通近畿社会福祉事業団「愛の家」へのカンパ活動とボランティア活動、平和運動の一環としての猷鶴活動も定着しつつあり、平和の大切さと重要性を訴えています。また、生活を守るための政治活動は現退一致して取り組んでまいりました。とりわけ選挙活動では一定の役割を果たしてきたと思っています。退職者の会を取り巻く情勢は厳しくなると予測されるので、一層の活動の充実と強化が必要です。10周年を契機に、退職者の会の更なる発展に向けて取り組みたいと決意しています。

終わりにあたり、10周年記念誌といえば10年を終えてから発行されることが多いのですが、大阪支部協としては、満10年を迎えた2007年10月からの1年間を10周年記念行事を行う1年間と位置づけ、第10回定期総会での記念誌の配布を記念行事の第一歩とし、記録的には10年の歴史とはなりませんが、本誌を発行いたしました。

うれしく思っている 二つの活動

N T T 労組大阪総支部

執行委員長 山田 健一



「N T T 労組退職者の会・大阪支部協議会結成10周年」を心からお祝い申し上げますとともに、日頃は現役の活動に対しまして、大所高所に立っての助言と絶大なる御協力をいただいていることに、改めて御礼を申し上げます。

「10年ひと昔」と申しますが、常に先駆的な活動を実践され、全国的な活動の牽引車の役割を担われてきた、大阪支部協議会の10年の歩みは、現役にとりましても大変誇りに思っています。

とりわけ、大阪支部協議会の多種多様な活動の中でも、個人的にうれしく思っている活動が2点あります。

その1つは、大阪支部協議会の会報である「摂河泉O B」のネーミングです。

1998年の全電通近畿地方本部の解散に伴い、現役は支部再編を行い、大阪支部を発足させました。同時に退職者の会の皆さんも11月14日に、大阪府下の退職者の会を再編され、共に新たな活動をスタートさせたのですが、当時、大阪支部の事務局長の任を仰せつかった私としましては、「大阪は1つ！の意味を現役の機関紙名としたい」との思いから、大阪北部支部の摂津、大阪東部支部の河内、大阪南部支部の泉州からヒントを得て「摂河泉」としましたが、現・退一致の活動の推進に向け、大阪支部協議会の皆さんも退職者の会の会報を「摂河泉O B」と命名してくださいました。

その後、現役は再び組織再編を行い、現在の機関紙名は「浪紀路」に変更となりましたが、是非とも今後も「摂河泉O B」の名称は継承していただきたく存じます。

2つ目は、「健康ウォークラリー」です。この取り組みも、退職者の会・近畿地方協議会の担当役員をさせていただいていた頃、「近畿各地にお住まいの会員の皆さんが自宅に居られても、支部協・地方協とウォークラリーを通じて、ひとつになれる取り組みを展開しよう」との思いで発案したのですが、今日まで大阪支部協議会の活動のひとつに加えていただいていることです。

まだまだ思い出は尽きませんが、高齢社会に突入している今日的な状況の中で、年金・医療・介護問題を始めとする社会保障制度が日増しに悪化してきており、退職者の会の皆さんと連携した取り組みが極めて重要であると痛感しています。N T T 労組の組合員が18万人に対し、退職者の会の会員数は10万人を超える組織となり、退職者の会の皆さんのお力を得なければ前に進まない、N T T 労組としての取り組みも多くあります。引き続き現・退一致の活動の推進をお願いするところでございます。

最後になりましたが、大阪支部協議会の益々の発展を祈念し御挨拶とさせていただきます。

問題意識を持つのは 「距離感」です

NTT労組大阪総支部

前執行委員長 赤本 忠司



退職者の会が、大阪支部協として10年。鷺谷会長、小林事務局長と全役員の皆様方の日夜を分かたぬ、まとまろうとする努力が、退職者の会の発展の原動力だったと思っています。ご苦労様です。

参議院議員「吉川さおり」君と「梅村さとし」君の誕生に向けた、皆様方の取り組みに敬意を表します。本当にお疲れ様でした。庶民の年金、医療、不正等への関心の深さと怒りが、如実に投票行動へと駆り立てたものとして喜んでいきます。極めて若い議員が誕生しました。今後は先輩の皆さんの働きかけ如何が、憲法改正、安保・防衛、老後の生活等を考える上で重要な判断基準になると思います。電話で私たちの相手をする時間があるとは思えませんが、手空きの時間帯には、メールなら届きさえすれば一読してもらえましょう。どんどん想いを送信しましょう。

さて、退職者の会と今次参院選を考えていて、問題意識を持つのは「距離感」です。退職者の会の活動が、また、参議院議員としての活動を推進していくのも、会員と会との距離あるいは議員と市民との距離が、大切だと考えています。離れては意思疎通に欠け、接近しすぎては存在感が乏しくなります。

地理的距離はネット上で簡単に検索できます。大阪―東京間は400km。大阪―札幌1,060km。ロンドンへは9,510kmでパリなら9,640kmです。しかし、パリ―ロンドン間は僅か340kmで東京―大阪間よりはるかに近い。パリとベルリンなら880kmで大阪―札幌よりも近い距離です。英仏独三国の近代の戦争関係は知るところですが、あまりにも近距離であることを知るにつけ、ヘンな納得をしてしまいます。ただ問題は、ロンドン、パリ、ベルリンそれぞれが首都であることです。福岡―東京が890kmですから、三国の首都が本州と九州の中にスッポリと納まることになります。

しかし、日本の首都は東京一つ。通信、鉄道、道路等すべてを放射線状に東京中心に組み立てられてきましたし労働組合も同様です。日本の国土は大きいことを、再認識する必要があります。大阪の存在感をタコヤキだけで示すのではなく、政治、経済、文化を示すことで大阪の存在感を高めるときが今だと言えましょう。まずは11月の大阪市長選、年明け2月の大阪府知事選、そして解散総選挙でしょう。

退職者の会の大いなる発展を祈念し……と最後はまとめるべきなのでしょう。が、発展は置いて、今ここで立ち止まって、国の広さと、大阪はいつまで東京の次なのかを考える時だと思っています。

人は変わっても 組織は永遠であれ

N T T 労組大阪支部

初代執行委員長 岩橋 栄



退職者の会大阪支部協議会10周年おめでとうございます。思い起こせば1998年の全電通労働組合の組織改革により、N T T労働組合に衣替えして早10年を迎えようとしていることに感慨も新たにしています。当時、大阪には東部、北部、南部の3支部があり、組織改革により3つの支部が1つになり、N T T労働組合大阪支部として再スタートしました。私はその初代委員長として、歴史も、運動スタイルも違う3つの支部をどう1つにまとめていくかに苦勞したことを思い出しますが、退職者の会もそれぞれの支部協が1つになったことで、同じような思いをされたのではないかと推察いたします。今は亡き初代会長の大庵さんのご尽力に改めて心から敬意を表したいと思います。

私が大阪支部委員長を務めていた4年間は全電通からN T T労組へ変わった最初の4年間であり、会社組織も持株会社の下にN T T東西会社ができるなど、大きく様変わりをした時代でした。確かその時は、まだ現役の組合員数が退職者の会員数より若干多かったような気がしますが、退職者の会の会員の皆さんが現役の数を上回るのは時間の問題だ、そうになったら退職者の会の会長の言うことは何でも聞かなければならないなあ……と密かに心配したものでした（笑）。大庵会長とはいつも「現退一致」を合言葉にそれぞれの課題について協力しながら取り組んできましたし、西本部に行ってから現在の鷺谷会長を始め退職者の会の皆様には多大なるご支援、ご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。また、先の参議院議員選挙においては、組織内候補「吉川さおり」の当選に向け、大きなお力添えをいただいたことについて、山田大阪総支部委員長からお聞きしており、大きな声では言えませんが、いまや現役を凌ぐ勢いではないかと思っています（汗）。

私は2006年8月末をもってN T T労働組合の専従役員を退任いたしました。思えば昭和43年に大阪中央電報局に採用されて以来、大阪一筋の労働運動人生でした。人は変わっても組織は永遠であって欲しいと思うのはそれなりの年齢を重ねた証拠でしょうか。これからも組織の皆さんや退職者の会の皆さんと共に歩んでまいりたいと存じますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

大阪支部協議会の今後益々のご発展を心からお祈り申し上げご挨拶いたします。

10年間の検証 総括が大切

NTT労組退職者の会 大阪支部協議会
初代事務局長 田宮 勇



10周年、おめでとうございます。そして役員の皆さん、ご苦労様でした。

想えば東部、南部、北部、ネット、関中の5支部協を解散、統合して、大阪支部協議会を結成、一県一支部協体制が発足した10年前のあの年も、今年程ではなかったが、結構暑い時期でした。職域を基盤とした退職者組織を、居住地を基盤とする運動体に変えて行くという訳ですから、結構難しい課題が山積していたように思います。

旧支部協の作風の違いや、役員等の確保に加え、急速に変化する生活のニーズへの対応など、ご苦労の連続であったでしょう。歴史を語り継ぐ節目として10年という周期は短いのか長いのか、よく解りませんが、今年は参議院で与野党逆転の夢が実現し、10周年を締めくくるページに輝かしい見出しがついた事は喜びに耐えません。

この機会に、我々はこの10年間に世の中が、どう動き、何がどう変わったのかを、じっくり検証し、総括することが大切だと思うのです。

これからの10年が、どんな軌跡を描くのかを予想することが極めて困難な時代になっています。世界も、日本もそして我々国民の生活もさらに大きな変革の嵐に見舞われそうな予感が致します。自然界の災害も忘れてはならない段階にきています。

そんな時にこそ必要なのが、ささやかでも温かく、強い連帯のきずなでありましょう。働く者の権利と幸せを守り抜こうとする現職組織の営みの伝承は、退職者の会のバックボーンとしても永遠であって欲しいと念じてやみません。

大阪支部協議会の前進と会員の皆さんの健康を心からお祈り申し上げます。

20世紀から 21世紀への歩み

1998年11月14日～2007年9月30日

大阪支部協議会結成総会

(主たる提案) 週5日の常駐体制・機関紙の発行・各種イベント・ウォークラリー、学習交流会、福祉活動など活動方針、会則、予算などを決定

- ▶1998年11月14日(土) 午前10時からコミュニティープラザ大阪の3階ホールで、N T T労組退職者の会大阪支部協議会結成総会が開催された。
- ▶結成総会では、旧在阪各支部協が今日まで活動してきた経緯もあり、当面はブロック担当を設置し運営する。再編後の支部協議会では会員は居住地への加入を基本とするが、会員の移行についてはその意思を尊重し、柔軟かつ慎重に対応する。地区割り、地区数については、2年を目途に組織を確立するよう努めるとの、基本姿勢の確認。
- ▶週5日(土・日・祝以外)の常駐体制、機関紙の発行、サークルを中心とするイベント及び旅行、ウォークラリー(現在も継続中)、学習交流会、福祉活動等の1年間の具体的取り組み、及び規約・規程、予算案などを決定後、新役員を選出した。



初代大阪支部協幹事会役員
(退職者の会所属)

前列左より

神田副会長、田宮事務局長、小林副会長、大庵会長、鷺谷副会長、松山事務局次長

後列左より

古布、丸山、田中、木村、植村、大串、大橋、佐々木、玉谷、磯川幹事

大阪支部協議会誕生の背景

結成総会の活動方針の冒頭に組織再編に至る経過が記されている。

- ▶第40通常国会でN T Tの再編法案が可決され、1999年7月に東・西地域会社、長距離、国際会社の4社に再編されることとなり、これに伴いN T T労組も地方本部を廃止し、都道府県単位の支部となり、在阪5支部が解散し大阪支部となる組織改革を決定した。
- ▶この基本組織の改革に伴い、退職者の会も組織機構について、地方協議会をなくし、中央協議会・地方組織として都道府県単位の支部協議会の2段階とすること、再編後の支部協議会において会員は居住地への加入を基本とすることを第26回中央協総会(1998年9月14日)で決定。
- ▶以上のことから再編(統合)の対象となる在阪5支部協(関西中央、大阪南部、大阪北部、大阪東部、関西ネットワーク)は10月中に解散し、大阪支部協議会結成に向けて6月3日に準備委員会を設置して検討を進めてきたとある。

大阪支部協役員

会長 大庵 芳運 事務局長 田宮 勇 事務局次長 松山 諄数、西田 好史(支部)
副会長(兼ブロック責任者) 鷺谷 憲、小林 保、神田トミ子
幹事(兼ブロック責任者) 磯川 渉、木村 敏子
幹事 古布 充、大串 チエ、玉谷 康彦、大橋 善一、佐々木鳴美、田中 豊、丸山 嘉子
幹事(兼会計監査) 植村 正和
会計監査 佐々木照子、上本紀代美(支部)
支部責任者 高宮 喜延支部副委員長 担当職員 森嶋久美子(支部)

99年2月～3月

電話訪問



会員の皆さんの近況を尋ねた。支部協として初めてのことで趣旨を十分ご理解いただけなかった面もあり、全会員からのご返事をいただけないこともあった。なお、一人暮らしの方は135名おられた。

	全 体	女 性	男 性
問合せ件数	4392	1594	2798
有効調査数	3746	1331	2415
健康です	3332	1204	2128
通院しています	310	105	205
入院中です	43	7	36
在宅で被介護	61	15	46

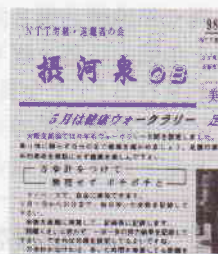
99年2月～10月

機関紙発行

大阪支部協機関紙は1999年2月23日付けで創刊号を発行、2号から機関紙名を大阪支部の機関紙「摂河泉Osaka」も考慮して「摂河泉OB」との名称にし、4回発行した。

また、4,500名を超える会員とのコミュニケーション手段と位置づけ、経費はかかるが全会員宅へ直送することとした。

現在は一部地域を対象に手配りも行っている。



99年3月24日

学習交流会を開催

現在の「いきいき講座」の原点となる学習交流会を開催 参加者65名

講座 「ボランティアを考える
ーネパールに関連してー」

講師 元全電通近畿
地方本部委員長 龍田 健一氏



講座 「介護保険制度の概要と
課題・問題点」

講師 ハートふる須磨
施設長 畑野 守氏



イ
ベ
ン
ト

99年4月8日

日帰りバスツアー

龍野・播州赤穂方面花見ツアー

参加者91名



99年6月7～8日

一泊バスツアー

愛知県三谷温泉一泊旅行

参加者89名



99年7月21日

社会見学

アサヒビール吹田工場見学

参加者99名

99年9月9日

社会見学

近つ飛鳥博物館

参加者62名

愛のカンパ 1,482,500円

支部協の活動として行われた全電通近畿社会福祉事業団への愛のカンパは930名・1,482,500円が寄贈された。

片山甚市氏・松葉誠一郎氏永眠

参議院議員・全電通中央副執行委員長・近畿地方本部執行委員長として活躍された片山甚市氏、元団結の家専任講師・地方本部交渉部長・大阪中央支部執行委員長として活躍された松葉誠一郎氏のお二方が、この年永眠された。

大阪支部協議会第2回定期総会(10月23日)

(主たる提案) 機関紙「摂河泉OB」を年6回発行、地域別ブロックの策定、永年役員表彰制度など

- ▶ 1999年10月23日(土) 午後2時からコミュニティープラザ大阪の3階ホールで、N T T労組退職者の会大阪支部協議会第2回定期総会を開催。
- ▶ 1年間の活動を振り返り、さらに活動を充実するため、全会員とのコミュニケーションの手段である「摂河泉OB」(全会員宅へ直送)を年4回から6回発行、電話訪問の継続などコミュニケーションの充実、学習交流会、愛のカンパなどの継続実施。また、地域別ブロック制を考慮しての小委員会の開催、通算5年・10年を対象とした支部協永年役員表彰制度の制定が決められた。

旧支部協の垣根を越えるサークル活動

結成後1年を経過したが、この間の課題の一つに旧支部協の垣根を取り払うという問題があった。同じN T TのOBであり、退職者の会の趣旨に賛同して参加している仲間であるのに、何が垣根だという感もあるが、旧支部協はもともと職域ブロックという土壌にある。どこが違うとはいえないのだが、どこかに元〇〇支部協という空気が漂い、慣習の違いというものもある。それを除くために、支部協としてはこの1年、会員の交流を主と考え、いろいろなイベントなどを企画してきた。また、それとあわせてサークル活動も有効な手段と考え、旧支部協から引き継がれたサークル活動を支援し、新しいサークル作りも働きかけてきた。そんななかでこの1年に二つの新しいサークルが生まれた。

ゴルフサークル



囲碁サークル



歩こう会



詩吟サークル



既存のサークル

和紙人形サークル



カラオケサークル



書道サークル



心と体の5UP体操



新サークルの誕生

支部協結成後新しく二つのサークルが誕生した。心と体の5UP体操サークルは、最初は内本町電館、その後ハロースポーツ守口、今は豊中国際交流センターを会場として活動中。

テニスサークルはN T T和泉運動場テニスコートが練習会場であったが、その後閉鎖されたので、今は泉北アクアテニスコートを練習会場とし活動中。

テニスサークル



00年6月25日

衆議院選挙

肥田美代子再選

2000年6月25日に行われた第42回衆議院解散総選挙で、準組織内候補「肥田美代子」(大阪10区)が、選挙区では惜敗したが、近畿の比例区にてトップの惜敗率により、比例代表として再選を果たした。



00年4月19日

学習交流会

心理学と手品

この年の学習交流会には講師に大阪産業大学教授・瀬島順一郎氏を招いた。氏は心理学教授であり、奇術界でもプロ級の腕前で知られており、手品を交えた講義は好評で、現在も「いきいき講座」で講師として、招いている。



イベント

年 月 日	種 別	内 容	参加者数
99年11月24日	日帰りバスツアー	永源寺・湖東三山めぐり	73名
00年1月19日	社会見学	酒蔵見学(月桂冠大倉記念館)	42名
2月22・23日	一泊バスツアー	北陸山代温泉・世界ガラス館	72名
4月4日	日帰りバスツアー	花見旅行(根来寺・粉河寺)	73名
5月14日	スタンプラリー	服部緑地公園	36名
5月17日	ハイキング	古都めぐり(奈良県依水園・春日大社等)	48名
7月3日	社会見学と史跡めぐり	桜井の里・サントリー工場	51名
9月6・7日	一泊バスツアー	大山・皆生温泉と松江城	56名

スタンプラリーは前年も企画したが雨天中止となり、支部協として初めての行事となった。



ユートピア加賀の郷
の大観音



月桂冠大倉記念館にて



山崎サントリーウイスキー工場



大山(伯耆富士)を背景に



愛のカンパ
ありがとう
1,472,000円

この年の愛のカンパは前年同様140万円を超える募金
が寄せられた。

大阪支部協議会第3回定期総会(10月28日)

(主たる提案) 組織のあり方と今後の展望を提起、機関紙「摂河泉OB」から会報「摂河泉OB」に変更、いきいき講座を開設、永年表彰15年を追加

- ▶2000年10月28日午後2時よりコミュニティープラザ大阪の3階ホールで、NTT労組退職者の会大阪支部協議会第3回定期総会を開催。
- ▶生活拠点に根ざした居住地域型連帯組織に移行すべきだとする組織確認に基づき、「退職者の会組織のあり方と今後の展望」が提起され、協力が求められた。
- ▶また機関紙を、会員への教育宣伝型でなく会員のコミュニケーションを主とすることから、名称を会報に改める。単発的講演会型の学習交流会を改め、定期的学習講座の開設(いきいき講座と名称、現在継続中)、今までの会員への電話によるお元気コールをハガキ訪問に変更する。また、永年表彰に15年表彰を追加するなどの方針を決めた。



大庵会長・田宮事務局長勇退
鷲谷会長・小林事務局長体制へ、

役員交代の時期にあたり、結成大会後、会長・事務局長として活躍された大庵芳運・田宮勇両氏が勇退され、鷲谷会長・小林事務局長の新体制となり、その他の役員も変更があった。



大庵会長 鷲谷会長 田宮事務局長 小林事務局長

機関紙コンクールで 「摂河泉OB」優秀賞受賞

9月14日に開催されたNTT労組退職者の会全国総会において、機関紙(この年から会報に変更)「摂河泉OB」が優秀賞となり、表彰された。会員とのコミュニケーションの重要な手段と位置づけ、年4回の発行から年6回に増やした定期的発行が認められたのだろうか。2ヶ月に1回ということで、発行したと思ったら次の編集の準備にかならねばならぬので多忙な面もあったが、何とか発行することができた。それだけにこの表彰は編集担当者にとっては励みになったと担当者の声。

また会報「摂河泉OB」4月15日付通算13号で組織推薦の参議院選挙比例区「高見裕一」候補の会員への周知の記事を、初めてカラー版(1面・4面)にした。当然経費がかさむことから論議があったが、その後「いきいき講座」の受講生を対象に会報についてのアンケートを実施した回答で、会報のカラー化について「ときどきカラーで良い」を含め「賛成」が50パーセントを超えたことから、通算47号(2006年12月25日付)文化祭の記事をカラー版として発行している。

ブロック再編をめぐって 2回のブロック委員全体会議

支部協のブロック組織は、かつてのNTT労組の在阪支部に対応した東部・南部・北部・関西中央・ネットワークというブロックである。しかし、現在のNTT労組の在阪支部は大阪・ME関西・西日本本社の3支部で、これからの退職者にはどのブロックに所属するかの根拠がない。

退職者の会としては、これからは地域に根ざした地域別への移行を方針とした。しかし、なぜブロック再編をしなければならないのかという意見も多く、支部協としては組織検討委員会を設置し、どう地域再編をするかについて検討し、第3回定期総会で9地域のブロック再編を示したが、さらに論議を深めるため、2000年度に2回にわたるブロック委員全体会議を開催したが、賛否激しい論議がかわされた。これを受けて13回にわたる組織検討委員会が開催され、第5回定期総会で、総会後の新ブロック(現在4ブロック)への移行を決定した。

いきいき講座の開設

単発型から名称を「いきいき講座」とし、定期型学習交流会が開設された。年間3回の6講座、年会費制の固定講座とし、内容もジャンルを広げ、最近では「落語」「歌謡ショー」を取り入れ、受講生の懇親会も設定したが、好評で、定員50名に対し倍以上の100名を超す応募があり、開催場所を変更し応募者全員を受け入れた。



5月8日①「医療保険の現状と課題」

連合中央生活福祉局 松永 茂樹

②「年金者の経済」

三菱信託銀行 山本 壽雄

7月10日①「動脈硬化の予防法」

—特に高齢者の運動生理—

NTT中央健康管理所センター

副所長 竹村 芳

②「いつまでも青春」

—健康な体とところを作る—

日本3B体操協会認定師範

五本上清美

9月11日①「講演と落語」

落語家 露 の 都

②「日本と中国の心の歌」

元上海歌劇団歌手

中国語講師 李 広 宏

イベント

年 月 日	種 別	内 容	参加者数
00年11月9・10日	一泊バスツアー	上高地と秘境白骨温泉	45名
01年2月9日	社会見学	日本盛酒蔵通り煉瓦館	44名
4月13日	日帰りバスツアー	姫路城・好古園・書写山円教寺	72名
5月18日	スタンプラリー	鶴見緑地公園	58名
6月10・11日	一泊バスツアー	湯郷温泉・倉敷チボリ公園・後楽園	43名
7月19日	社会見学	アサヒビール西宮工場	44名
10月18日	日帰りバスツアー	播州清水寺・三田椎茸狩りとビール工場	65名



上高地を背景に



日本盛は良いお酒



倉敷チボリ公園にて



椎茸はやっぱり三田

愛のカンパ 1,690,500円

愛のカンパは、1,084名・1,690,500円と、昨年を上回る募金が寄せられた。

第19回参議院選挙

第19回参議院選挙は、大阪選挙区の山本孝史候補は勝利したが、組織推薦の比例区・高見裕一候補は惜敗した。

マイラインの協力

NTT労組の要請もあり、電話回線の獲得をめぐる他企業と競合したマイライン加入奨励について、退職者の会全体が協力した。

大阪支部協議会第4回定期総会(10月27日)

(主たる提案) 第5回総会後に4ブロック体制への移行を提起、いきいき講座を年5回に増加、会報の充実、ハガキ訪問の見直し、イベントの強化、中央協交付金210万円減など

- ▶ 第4回定期総会は2001年10月27日午後2時よりコミュニティープラザ大阪で開かれ、懸案であった新しいブロック構成については、ブロック委員全体集会・組織検討委員会の議論を踏まえ、9つの方面別から4つに変更し、ブロック準備委員会を立ち上げ、第5回総会で発足を決定することとした。
- ▶ また、全会員を対象に行ってきた電話訪問・ハガキ訪問については、効率性を見直し、会員の現況及びニーズを掌握する方法を検討する。会報やイベントの充実を図るなどを決定した。

新ブロック準備委員会発足

第4回総会において承認された、次年度から地域型の4つのブロック体制にするための準備委員会が、新ブロック地域に居住する幹事とブロック委員により開催された。

河内ブロック

仮称東部ブロックの準備委員会

立ち上げは、1月10日コンポ大阪で開催された。

1. ブロックの名称は「河内ブロック」とする。
2. 役員について

委員長	太口 昭一	次 長	田伏ノブ子
事務長	田中 康夫	会 計	平坂 隆吉
委 員	その他役員		



泉州ブロック

仮称南部ブロックの準備委員会

立ち上げは、1月10日南海グリルで開催された。

1. ブロックの名称は「泉州ブロック」とする。
2. 役員について

委員長	山田 忠夫	事務長	満塩 静夫
会 計	木村 敏子		



なにわブロック

仮称中央ブロックの準備委員会

立ち上げは、1月11日コンポ大阪で開催された。

1. ブロックの名称は「なにわブロック」とする。
2. 役員について

委員長	植村 正和	次 長	古布 充・田中 豊
事務長	大橋 善一	相談役	大庵 芳運



北摂ブロック

仮称北部ブロックの準備委員会

立ち上げは、1月18日コンポ大阪で開催された。

1. ブロックの名称は「北摂ブロック」とする。
2. 役員について

委員長	森川伊津美	事務長	佐々木鳴美
会 計	大串 チエ	地区別連絡委員会を置く	



会報「摂河泉OB」A3判に変更 —「会員のひろば」を設置—

会報「摂河泉OB」を、A4判横書からA3判縦書に変更し、今までは支部協からの発信型であったのを、「会員のひろば」を設置し、会員からの発信記事を掲載することとした。また、組織内地方議員に身近な行政について語ってもらう記事を掲載した。



多彩な「いきいき講座」

年間5回10講座に拡大した「いきいき講座」はテーマ・講師も多彩になり、受講料も1000円から3000円に値上げしたが、募集人員は100名を超える人気であった。

時事問題 国際フリージャーナリスト 佐藤 巧二氏
地方史 「大阪の食文化」

天満宮文化研究所
研究員 近江 晴子氏

趣味 「園芸の楽しみ」

日本セカンドライフ協会
講師 田宮 勇氏

環境 「人と自然の共生」

NPO自然と緑
理事長 石原 忠一氏

福祉 「介護保険について」

あいハート須磨
施設長 畑野 守氏

健康 「中高年の健康管理」 谷口クリニック院長

芸能 「トークと落語」 笑福亭学光師匠

「マジックショー」

リチャード・シブヤさん

「歌謡ショー」

一ひばりの世界を歌うー 久間 勝代さん
クラウンレコード 林 健二さん

イベント

年 月 日	種 別	内 容	参加者数
02年2月6日	社会見学	新NHK会館・大阪歴史博物館	141名
4月18日	日帰りバスツアー	吉野山千本桜花見	77名
5月12日	社会見学	サントリービール工場・長岡京散策	57名
5月16日	スタンプラリー	長居公園	36名
5月26日	ハイキング	枚岡神社から石切	24名
6月24・25日	一泊バスツアー	加賀百万石博と山代温泉「ホテル百万石」	72名
7月14日	ハイキング	箕面公園と箕面スパーガーデン	32名

退職者共済慶弔金の減少

退職者共済の慶弔金については、預託金(5万円)の運営利息でまかなってきたが、利息の大幅ダウンにより赤字状態になっており、2002年1月よりやむなく大幅減額になった。

廃止 結婚、銀婚、古希、傘寿、子・孫の出生
同居の親・子・孫の死亡、住宅災害
減額 金婚・米寿、喜寿、白寿、会員死亡

愛のカンパ 1,083,000円

2001年度も1,083,000円の愛のカンパが寄せられた。

中村泰士のシニアズコンサート 無料招待(2回)、大人気

情報労連近畿地方協議会解散記念行事のシニアズコンサート(4月28日NHKホール、出演：中村泰士・尾崎紀世彦等)に本人・家族・友人無料招待があり、応募が殺到した。またシニアライフポップス(7月18日厚生年金会館、出演：中村泰士・錦野旦等)に二人招待の抽選にも多くの応募者があった。



大阪支部協議会第5回定期総会(10月26日)

(主たる提案) 総会后11月中に新ブロックの結成総会を開催、訪問活動・イベントの社会見学・日帰りバスツアーなどブロック中心の活動体制に移行など

- ▶ 第5回定期総会は、2002年10月26日午後1時よりコミュニティープラザ大阪3階ホールで、結成5周年大会と位置づけ、下記のオープニングセレモニー・記念講演後に開催された。
- ▶ 発足当時からの課題であった地域ブロックの結成総会を11月中に開催する。イベントなど会員との交流活動についてはブロックが企画し、支部協はその調整役等を行っていくなど、ブロック中心型への移行を決定した。

5周年大会オープニング 大正琴サークル「わたすげの会」の演奏



5周年大会記念講演

「国政について・あれこれ」

内藤正光参議院議員

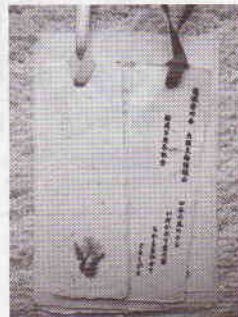
ご多忙にも関わらず第5回定期総会の記念講演を引き受けてくださった内藤参議院議員は、政治の道を目指すきっかけとなった在米経験を糸口として、NTTを取り巻く政治状況、医療制度改革、そして第155臨時国会の争点など、1時間にわたり講演され、参加者に深い感銘を残した。



全会員に5周年記念品として 押し花しおりとはがきを送付

淡輪の知的障害者総合福祉施設「愛の家」では牛乳パックを漉いて作成した、ハガキとしおりを製作販売している。

このしおりの飾りとして押し花を作成し、ハガキ5枚とセットにして、全会員に5周年記念品として送付した。なお、押し花は女性を中心とした支部協役員・ブロック委員延べ138名が協力して作成したもので、会員からもお礼の便りが寄せられた。



全ブロック結成総会を開催

総会の決定を受けて全ブロックがそれぞれ結成総会を開催し、年間活動等を決定した後、懇親会で新ブロック会員間の親睦を深めた。

泉州ブロック結成総会 11月16日

NTT堺営業所社員食堂

なにわブロック結成総会 11月22日

コミュニティープラザ大阪3階ホール

河内ブロック結成総会 11月24日

コミュニティープラザ大阪3階ホール

北摂ブロック結成総会 11月29日

コミュニティープラザ大阪3階ホール

次年度から支部協会費を値上げ 2,000円→2,400円へ

NTT労組の組織改革により、NTT労組大阪支部がNTT労組大阪総支部に変更され、支部財政については中央からの交付金方式に変更されたため、退職者の会への援助金(前年度は300万円)が廃止された。また、活動がブロック主体となることから、ブロック交付金の大幅増額など、支部協財政も苦しくなった。このため次年度(2003年度)より、年間2,000円の支部協会費を2,400円に値上げすることとし、会費の徴収が8月の退職者共済の更新時となるため、次期総会では間に合わないで、2002年度総会で次年度会費の値上げのみの先行承認を提起し、承認を得た。

いきいき講座 8 回に増加
—初めての屋外学習—

いきいき講座を6回から8回に増加し、講座内容も初めての屋外学習として、4月にNPO「自然と緑」理事長・石原忠一氏を講師に「人と自然の共生」のテーマで、箕面の森の樹木について学んだ。9月には「高槻古墳」を散策し、講師（高槻市教育委員会ボランティア）の方の説明を受けた。



会報「摂河泉 OB」
機関紙コンクールで最優秀賞

9月の全国総会での機関紙コンクールで、会報「摂河泉OB」が最優秀賞として表彰された。これも年6回の発行、ブロック版を定着させ、各ブロック会員向けの周知を図ったこと、また、イラク戦争、ボランティアなど特集的なものなど特色を出す努力をしてきたことが認められたと、今後の会報作成への励みとなった。

統一地方選挙で組織内3候補当選

4月13日政令指定都市、27日市町議会等統一地方選挙で、大阪府下の組織内候補・はんだ大阪府議会議員、おくの大阪市議会議員、中井堺市議会議員の3名は見事再選された。

愛のカンパ 974,750円

愛のカンパは671名・974,750円の募金があった。

イ ベ ン ト

この年度から社会見学、日帰りバスツアー、ハイキングなどのイベントはブロック企画とした。前年の7から14に倍増した。

年 月 日	種 別	内 容	企 画	参加者数
02年10月2日	ハイキング	堺市内史跡めぐり		35名
03年2月19日	日帰りバスツアー	南部梅林と竜神温泉	泉 州	
3月8日	社会見学	酒造天野酒と爪楊枝工場	河 内	
3月11日	社会見学	サントリーウイスキー山崎工場	北 摂	
4月30日 8月28日	カラオケ	カラオケ大会	泉 州	38名
5月8日	日帰りバスツアー	湯郷温泉・武蔵の里	河 内	
5月16日	スタンプラリー	堺市大泉緑地公園	支部協	
6月5日	ハイキング	大阪の渡し舟めぐり	北 摂	
7月3日	社会見学	キュービーマヨネーズ伊丹工場・白雪酒造・アサヒビール西宮工場	河 内	
7月23日	社会見学	アサヒビール吹田工場	北 摂	
7月25日	社会見学	納涼天神祭り	なにわ	
8月27日	社会見学	水上バス中之島めぐりと食事会	なにわ	
9月5日	社会見学	岸和田城周辺探索	泉 州	28名
9月11日	ハイキング	交野「星の里」	河 内	
10月1・2日	5周年記念 一泊バスツアー	富士山・河口湖温泉	支部協	153名

大阪支部協議会第6回定期総会(10月25日)

(主たる提案) ブロックの活性化、ホームページの立ち上げ、ボランティア活動の強化、政治活動の強化、平和運動の取り組みなど

- ▶ 第6回定期総会は、2003年10月25日午後1時よりコミュニティープラザ大阪3階ホールで開催された。
- ▶ 地域型ブロックへの移行について懸念されたが、地元を共有する一体感がブロックの結成総会で改めて強く意識され、問題なく移行できた。また結成後の活動は、ブロック委員会を中心に役員の努力により、地域の特性を発揮し支部協活動を支えていることなどが評価された。
- ▶ 一方退職者の生活環境は、社会保障の負担増など苦しい状況にあり、さらに年金所得の基礎控除の縮小なども検討されており、総会後に行われる衆議院選挙、翌年の参議院選挙において勝利し、政治改革が求められているなどの提起がされ、支部協運営の具体的な活動では、ブロック活動の活性化、ホームページの立ち上げ、ボランティア活動の強化などの提案が承認された。

衆・参両院選挙で民主党躍進、自民党敗北

この年度に二つの選挙が行われた。2003年11月9日の第43回衆議院選挙を、民主党は「政権選択」の選挙と位置づけ、マニフェスト(政権公約)で政権担当能力をアピール、議席を選挙前の137から177へと大きく伸ばした。公明党は微増。自民公認候補の当選は10議席減となった。この選挙でNTT労組準組織内候補として推薦した民主党・肥田美代子候補(大阪10区)は83,077票を獲得し、相手自民党候補に約15,000票もの差をつけ選挙区で当選した。退職者の会も地域ブロック(北摂)が中心となり、高槻地域での支援活動を行った。11月に開催した北摂ブロックの懇親会に肥田議員が出席するという、地域ブロックとしての特性が生かされた。



翌2004年7月11日に行われた第20回参議院選挙では、自民党は目標とした改選51議席を割り込み敗北した。民主党は改選議席から大幅に上積みして躍進、獲得議席で自民党を上回った。改選議席の獲得数で野党が「第一党」となったのは1989年の社会党以来である。

NTT労組組織内の比例区・内藤正光候補は民主党第3位で当選した。また大阪地方選挙区の民主党・尾立源幸候補は1位当選を果たした。

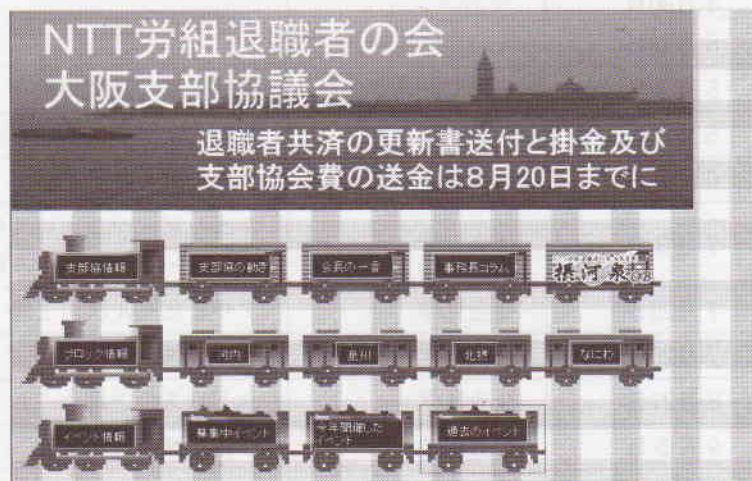


ホームページ開設

2月に支部協のホームページを開設した。とは言っても、当時は退職者の会の役員で開設する技術力があるわけではなく、NTTの職場に依頼して開設にこぎつけた。

しかし、開設後の更新については経費がかかることから、役員自身が勉強し、自分たちの手で更新できるようになった。また、今ではトップページも右のように変更し、ブロックやサークルの担当者を選出して勉強会

を行い、ブロックやサークルの記事も更新できるようになった。また、支部協の動きや会長・事務局長のコラム、イベント案内、会員の投稿掲示板も設置している。現在はアクセス数も15,000を超えた。



ブロック懇親会の開催

新ブロック結成後1年。決定機関ではないので総会を行わないが、1年の活動の締めくくりとして、10月から11月にブロック懇親会を開催し、活動報告や次年度の活動計画の説明を行った後、交流の場としての懇親会を行っている。

会費制で、ブロックの会員に呼びかけ、希望者の参加形式で会員の約1割の方が参加されている。また内容も、80歳以上の出席会員へのプレゼントやアトラクション、カラオケなど、ブロックごとに工夫をこらしたものになっている。



アトラクション・石見神楽



アトラクション・交野音頭



80歳以上の会員への贈り物

二つのボランティア活動

泉州ブロックでは、ブロック発足当初から月2回の「愛の家」への訪問ボランティアを企画し、グランドなどの草刈や屋内外の清掃、農園開設、紙漉きなどの共同作業を恒常的に行っており、これは地域ブロックなればこそその活動である。また、大正琴や踊りのサークルによる訪問活動も行っている(P.28参照)。

「みなみかわち」の立ち上げ

地域ボランティアとして、2004年2月11日河内長野・富田林地域周辺を対象としたボランティア組織「みなみかわち」を結成し、河内ブロックから会長など活動の中核となる役員を選出した。



カルチャー教室の開催

2004年4月から「いきいき講座」とは違った面での教養講座として、「カルチャー教室」を開設した。

やさしい英会話	4月6日より計8回
やさしい英会話(2)	8月24日より計8回
韓国語入門	4月6日より計8回
河内・江州音頭おどり	7月7日
男の料理教室	7月27日(なぜか女性の受講者多数)



韓国語入門



男の料理教室

イベント

- 日帰りバスツアー** 03.11.26 池田不死王園グルメと温泉(なにわ)、04.4.2 霞間ヶ溪の桜と長良川温泉(河内)、6.2 京都七福神めぐり(なにわ)、6.15 グリコピア神戸と神戸ワイン城(北摂)、7.9 信楽焼体験(泉州)
- 社会見学** 04.7.13 大飯原発と舞鶴引揚記念館(河内)、7.22 アサヒビール吹田工場(北摂)、7.25 納涼天神祭(なにわ)、9.8 堺百舌鳥古墳めぐり(泉州)
- ハイキング** 5.11 武田尾廃線跡ハイキング(なにわ)
- 嵐の一泊バスツアー** 04.9.29・30 道後温泉としまなみ海道(支部協)。1日目は台風にめげず出発、旅館に着いたのは深夜の12時。翌日は快晴、忘れられぬ一泊旅行となった。

初代会長 大庵氏永眠

2004年4月1日、大阪支部協議会の初代会長・大庵芳運氏が永眠された。

愛のカンパ

愛のカンパは641名・1,035,500円の募金があった。

大阪支部協議会第7回定期総会(10月23日)

(主たる提案) 会報手配りの拡大、JASSへの協力、いきいき講座・カルチャー教室の充実など

- ▶ 第7回定期総会は、2004年10月23日午後1時よりコミュニティープラザ大阪3階ホールで開催された。
- ▶ 衆参両院選挙で民主党が飛躍したとはいえ与党は依然過半数を占め、小泉内閣は国民負担の増大を図り、退職者・高齢者への経済的圧迫の政策を強行し、生活不安を大きなものになっている。政権交代を目指し、活動をさらに強化していかなばならない。
- ▶ また、会員の親睦交流を図りながら、次年度も発展を求めて課題を探索しながら、新たな挑戦をという提案にあたっての姿勢を示すとともに、具体的方針として、会報手配りの拡大、鷺谷会長が運営委員として活動中のJASS活動への協力、新たに始めたカルチャー教室の充実などが提起され、承認された。
- ▶ また、この年は役員交代の年度であり、支部協発足以来の役員である木村敏子副会長・大橋善一事務局次長・佐々木鳴美幹事、2期活動された田中康夫幹事が退任。

三つのカンパに取り組む

1. 新潟県中越地震・台風災害カンパ 1,523,500円

2004年10月20日、台風23号が近畿を直撃し、退職者の会京都府支部協・兵庫県支部協の会員も多くの被害を被った。その後の10月23日、震度7の新潟県中越地震が発生した。大阪支部協として12月15日付会報でカンパを訴えたところ、短期間の運動にもかかわらず、773名・1,523,500円の募金があり、新潟・京都・兵庫の各支部協に送金、支援連帯することができた。

2. 平和を願うモニュメント募金 595,000円

大阪市の森ノ宮、大阪城公園近くの財団法人「大阪国際平和センター」の「ピースおおさか」内に「平和を願うモニュメント」を設置するため、その財源を集める募金委員会を大阪府・大阪市・平和センターで構成し、8月完成を目指し取り組んでいる。

この大阪国際平和センターの理事長が大阪支部協議会の会員である岡本知明さんである。このこともあり、大阪支部協として協力呼びかけを2月15日付会報で行ったところ、災害カンパの後にもかかわらず305名・595,000円のカンパが集まった。なおこのモニュメントは8月14日に完成の式典が行われた。



3. 愛のカンパ 956,000円

災害カンパ、平和を願うモニュメント募金と続いたことから、愛のカンパは前年と時期をずらして4月15日付会報で呼びかけを行った。二つものカンパのお願いの後にもかかわらず、615名・956,000円の募金が寄せられた。

会報にコラム欄「行雲流水」

この年度より会報「摂河泉OB」の最終面記載の「編集後記」をなくし、1面に「行雲流水」と題したコラム欄を設置した。筆者は「編集後記」から引き続き小林事務局長。

一味違ったコラムは、事務局長の想いが込められた記事となり、会員からも絶賛の声が聞かれている。

連合大阪高齢・退職者の会ベトナム旅行に参加

連合大阪高齢・退職者の会が主催した「ベトナム訪問友好の旅」に、大阪支部協から鷺谷会長以下計6名が参加、会報「摂河泉OB」に旅行記事が寄稿された。連合という組織を通じ、また他企業の退職者との旅を通じての交流もまた大切だと考える。



1万羽の鶴が広島へ旅立つ 30名が平和献鶴ツアーへ

戦後60年という節目を迎えて、戦争の悲惨さ・厳しさ、被爆の実態を風化させてはならないとの想いが、平和運動担当者の熱意を軸として支部協の広島への献鶴運動を実現させ、退職者の会広島県支部協とも連絡を取りながら準備が進められた。ブロック委員を中心として寄せられた1万羽の千羽鶴を携え、30名の参加者が青春18切符で大阪を発ち7時間近くの旅で広島へ(P.27の平和運動を参照)。この運動は3年目になるが、献鶴ツアーは広島から長崎へ拡大しており、沖縄へも献鶴を送付している。この運動は、会員の年代は変わっても核兵器がなくなるという限り引き継がれていくだろう。

平和学習会の開催

献鶴運動とあわせて、平和学習会を開催した。

1. ピースおおさか見学と講演 1月27日 54名参加
2. 元アメリカ海兵隊員アレン・ネルソンさん講演会
2月6日 24名参加
3. ベトナム・ドクちゃん講演会 3月24日 8名参加

マジックと水墨画&男の料理教室
多彩なカルチャー教室

カルチャー教室は、マジック・水墨画・男の料理教室とメニューも多彩になって開催。しかも講師はみな大阪支部協の会員。マジックはいきいき講座で出演された重村会員、水墨は地元で市の水墨画教室で教えている登会員、料理は調理師の免許を持つ前中良介会員である。



第44回衆議院選挙

2005年9月11日に行われた郵政法案否決による衆議院解散総選挙は、残念ながら与党が絶対安定多数(3分の2)の結果となった。

東田元府議永眠

大阪府会議員として9期活動された東田保氏が2005年1月12日永眠された。

イベント

年 月 日	種 別	内 容	企 画	参加者数
04年11月5日	社会見学	町人文学の地を訪ねて	北 摂	42名
11月8日	社会見学	河内長野市・観心寺とみかん狩り	河 内	48名
11月17日	日帰りバスツアー	淡路島グルメ	なにわ	54名
05年2月9日	社会見学	「北摂の酒蔵」探訪	北 摂	50名
3月29日	ハイキング	いずみの国伝説と悠久の歴史	泉 州	37名
4月11日	日帰りバスツアー	海津大崎花見クルーズ	河 内	55名
4月26日	日帰りバスツアー	三田バーベキュー	なにわ	50名
5月10日	スタンプラリー	服部緑地公園	支部協	60名
5月26日	ハイキング	柳生街道・春日原生林	なにわ	62名
6月3日	社会見学	田崎真珠・キリンビール三田工場	北 摂	76名
7月19日	社会見学	シャープ工場・タマノイ酢工場	河 内	90名
7月25日	社会見学	納涼天神祭りと花火	なにわ	61名
8月6日	社会見学	平成淀川花火祭り	北 摂	57名
9月13日	社会見学	岸和田だんじり祭り	泉 州	37名

大阪支部協議会第8回定期総会(10月22日)

(主たる提案) 河内長野市議会選挙・柳田候補推薦、初めての余技作品展を企画、支部協会費中途加入者は半額など

- ▶ 第8回定期総会は、2005年10月22日午後1時よりコミュニティープラザ大阪3階ホールで開催された。
- ▶ 具体的活動方針では、河内長野市議会選挙にN T T労組重点候補の柳田吉範市議を推薦、支援活動を行う。また、文化活動の一環として支部協初の余技作品展を開催する(準備等の関係もあり、開催は次年度となる10月4日となった)。支部協会費について、年間途中加入者でも年会費2,400円納入であったが不満の声もあり、3月以降の中途加入者は半額の1,200円とするなどの方針を決定した。

河内長野市議選挙、柳田候補7位当選



4月23日の河内長野市議会選挙では、退職者の会は河内ブロックが柱となって、地域後援会と連携し柳田候補の支援活動を行い、前回より300票上回る得票を得、7位で再選した。

児童虐待撲滅運動に協力

N T T労組が社会貢献の一つとして進めている「児童労働撲滅キャンペーン」の地方イベントが、2006年5月21日大阪南港W T Cで開催され、退職者の会からも68名が参加した。



折鶴に折り込まれた多くの皆さんの平和への熱い願い

折鶴はオキナワ・ヒロシマ・そしてナガサキへ2万7千羽

大阪支部協は前年に引き続き、ヒロシマ、そして新たにナガサキ・オキナワへ、平和を願い、延べ29名の会員有志が献鶴に行った。

献鶴運動はヒロシマからナガサキ、そしてオキナワへと輪を広げた。この年度はヒロシマへは夜行バス、ナガサキへは新幹線で、オキナワへは飛行機で訪れ、計2万7千羽を献鶴した。また、広島県支部協と色紙によるエール交換を行った。

- | | | |
|----------|--------|----------------|
| ヒロシマ (1) | 5,000羽 | (N T T基町ビル慰霊碑) |
| ヒロシマ (2) | 9,000羽 | (平和記念公園・原爆の子像) |
| オキナワ | 1,000羽 | (魂魄の塔) |
| ナガサキ (1) | 7,000羽 | (平和公園・電通慰霊碑) |
| ナガサキ (2) | 5,000羽 | (平和祈念像) |



広島県支部協とのエール交換

パソコン教室の開催

カルチャー教室の一つとして、支部協主催のパソコン講座を開催した。



2006年第1期は30名、2期は補講。3期は25名でワード、4期と5期は21名でエクセル、6期は中級編を開講。

パソコン教室の会費はパソコン購入に充当し、每期約20名の受講生がある。

2007年7月現在8期を終了した。

グラウンドゴルフ大会の開催

2005年11月1日、ブロック委員中心に、第1回グラウンドゴルフブロック対抗戦を開催、2006年9月11日には会報で一般会員も募集し、万博公園で第2回グラウンドゴルフ大会が開催された。

また、これを機に退職者の会近畿地方の支部協(6支部協)の対抗大会を開催している。



いきいき講座で文楽観賞

いきいき講座では講師として雑誌『上方芸能』の森西編集長を招いていることから、上方の伝統芸能「文楽」を観賞する企画をし、8月4日国立文楽劇場で「夏祭浪花鑑」「連獅子」を観賞。109名の参加があり、大好評だった。

2006年度も文楽観賞を継続。



愛のカンパ 846,300円

2005年度の愛のカンパは、523名の会員から上記金額の募金が寄せられた。

木村敏子元副会長 大台辰男氏・馬場一氏、江上常富氏永眠

大阪支部協副会長として活動された木村敏子さん(05年10月18日)、初代全電通近畿地方委員長で大阪府議会議員の大台辰男氏(06年5月13日)、東部支部委員長・馬場一氏(06年1月14日)、西宮市議会議員・江上常富氏(06年3月17日)が永眠された。

イベント

年 月 日	種 別	内 容	企 画	参加者数
05年10月5・6日	一泊バスツアー	新穂高温泉と乗鞍岳	支部協	92名
11月1日	グラウンドゴルフ	ブロック対抗大会	支部協	36名
11月11日	ハイキング	紅葉の鞍馬・貴船	河 内	31名
11月16日	ハイキング	紅葉の箕面散策	北 摂	41名
11月17日	日帰りバスツアー	「露天風呂と海鮮料理」(赤穂)	なにわ	56名
06年2月10日	社会見学	大谷美術館と灘五郷酒蔵	北 摂	48名
4月4日	ハイキング	久米田史跡散策と講演会	泉 州	
4月10日	日帰りバスツアー	播州古寺の桜と塩田温泉	河 内	54名
4月12日	社会見学	水上バスで中之島散策と懇親会	なにわ	59名
5月12日	スタンプラリー	鶴見緑地公園	支部協	60名
5月20日	ハイキング	府民の森「むろいけ園地」	河 内	
5月27日	ハイキング	古の風景が残る京田辺	なにわ	48名
6月2日	社会見学	人と未来防災センターと神戸	泉 州	39名
6月29日	日帰りバスツアー	花めぐり(山崎花菖蒲・神戸市立森林植物園)	なにわ	54名
7月13日	社会見学	アサヒ飲料明石工場・世界の貯金箱博物館・尼信博物館	河 内	47名
7月25日	社会見学	納涼天神祭りと花火	なにわ	58名
8月5日	社会見学	なにわ淀川花火大会	北 摂	57名
9月1日	社会見学	西陣織会館・ハツ橋手作り体験・しょうざん庭園	泉 州	34名
9月4・5日	一泊バスツアー	蒜山・大山高原と三朝温泉	支部協	88名
9月11日	グラウンドゴルフ	ブロック対抗万博大会	支部協	46名
9月29日	ハイキング	能勢妙見山麓で栗拾い	北 摂	50名

大阪支部協議会第9回定期総会(10月21日)

(主たる提案) 退職者共済掛金・支部協会費の口座振替、統一地方選挙・参議院選挙の取り組み、10周年記念行事の取り組みなど

- ▶ 第9回定期総会は、2006年10月21日午後1時よりコミュニティプラザ大阪3階ホールで開催された。
 - ▶ 共済と選挙活動を重大活動と位置づけ、共済掛金・支部協会費の口座振替については2007年8月のサービス開始を目標に取り組む。
 - ▶ 2007年4月の統一地方選挙、7月の参議院選挙を「政治体制を変える」を目標に全力を挙げる。次年度が支部協発足10周年になるので、記念行事に向けた準備を行うなどの方針を決定。
- なお、この年度は役員交代の年度であったが、退職者の会選出の役員は全員留任した。

第1回大阪支部協議会文化祭を開催

2006年10月3日、コミュニティプラザ大阪で大阪支部協議会第1回「文化祭」を開催した。初めての催しであり、前年度から準備に時間をかけ、3階ホールで各サークルの舞台発表や「いきいき講座」も兼ねた「腹話術と健康トーク」「歌謡ショー」「大抽選会」、6階の会議室では会員の力作140点余の「余技作品展」を開催した(P.33参照)。

統一地方選挙 3候補全員当選

2007年4月8日に行われた統一地方選挙では、大阪地域の組織内の3候補に対し、支部協として担当ブロックを決め支援活動を行った。

大阪府議会議員(住之江区)・はんだ實候補[北摂ブロック]・大阪市議会議員(港区)・おくの正美候補[なにわブロック]・堺市議会議員(南区)・中井くによし候補[泉州・河内ブロック]

特に堺市議会選挙は、堺市が政令指定都市になったため選挙地盤が大きく変動し、苦しい選挙戦であった。しかし熱心な支援活動のおかげで、3候補とも上位で再選を勝ち取ることができた。



はんだ實
大阪府議



おくの正美
大阪市議



中井くによし
堺市議

参議院選挙 民主圧勝

吉川さおり組織内比例区候補当選

2007年7月29日に行われた第21回参議院選挙は民主党が圧勝し、参議院での第一党となり、政権交代の足がかりをつかんだ。

組織内比例区候補の吉川さおりさんは306,575票という指名投票を獲得し、民主党比例区2位当選を勝ち取った。

近畿では、大阪での梅村候補の1位当選など和歌山を除く民主党候補が全員当選となった。

参議院選挙の結果は与党が過半数を割り、また参議院議長や運営委員長が民主党から選出され、政治の流れを変える一歩を踏み出したといえる。



初当選の
吉川さおり参議院議員

10周年記念行事 全会員を対象に懇親会を開催

支部協発足10周年行事としては、この「10周年記念誌」の作成とあわせて、毎年各ブロックごとに行ってきた総会後の懇親会を、支部協全会員を対象とする大懇親会(出席予想500名)とすることとした。

しかし、500名という参加者を想定すると会場が問題であり、検討の結果、支部協の川向かいにある、リーガロイヤルホテル(大阪)で催すこととした。また、これ以外の種々の記念行事も企画している。

愛のカンパ

この年の募金者は
511名で
856,000円の
募金が寄せられた。

全会員へ共済関係の電話訪問

退職者の会への加入時には5万円の預託金を収める規定になっている。この預託金の返済は、会員の脱会時（死亡されたときは自然脱会）のみとなっていたが、規約を改定し、会員が80歳になった時点で返済することとなった。

返済は会員の預金口座への振り込みとなっている。この振込先の指定口座の届出と、第9回支部協定期総会で決定した、共済掛金及び支部協会費の振込みの口座設定の申込用紙を11月から12月にかけて送付した。

しかし、返送が半分以下であることと、共済生協が法改正されたことなどから、2007年度の退職者共済の加入促進（更新）書を2007年6月25日に送付後、全会員に対する電話での訪問により、口座設定の意思の有無や、変更内容の説明などを行った。

明治～平成の4代を生きる 85歳以上の会員へのアンケート

支部協の85歳以上の会員を対象に

- ①健康のためにしている運動の種目と時間
- ②健康のための日常の食事での注意
- ③心と体の健康法
- ④「座右の銘」「信条」
- ⑤意見・要望
- ⑥いきいきメッセージ

アンケートを送付したところ、99歳の会員を始め19名の会員からの回答があった。

支部協会員ではないが、元中央本部の財政局長で、月に数回支部協事務所に顔を見せられる馬場新一氏(86)にも回答を願い、会報「摂河泉OB」(4月15日付)通算49号に掲載した。



(馬場新一氏)
健康法などと言えるものではなく
生き様である。

イベント

年 月 日	種 別	内 容	企 画	参加者数
06年11月7日	ハイキング	二上山の裾野を歩く	河 内	
11月21日	日帰りバスツアー	海鮮活き造りグルメ・三方五湖	なにわ	
07年2月9日	ハイキング	金剛山登山と樹水を見る	河 内	
3月15日	ハイキング	月ヶ瀬の梅観賞&ミニハイキング	北 摂	
3月27日	日帰りバスツアー	伊賀上野散策	泉 州	
4月10日	日帰りバスツアー	彦根城の桜と醒ヶ井宿散策	河 内	
5月1日	ハイキング	泉南の熊野街道散策	泉 州	
5月18日	ハイキング	あまの街道から金剛寺	河 内	
5月24日	スタンプラリー	堺市大泉緑地公園	支部協	
6月5日	グラウンドゴルフ	第3回グラウンドゴルフ大会 in 万博	支部協	
6月6日	社会見学	京の八幡で蕎麦打ち体験	北 摂	
6月24日	社会見学	平野郷めぐりと食事会	なにわ	
7月6日	日帰りバスツアー	ヒガシマル醤油と「揖保の糸」そうめんの里見学	河 内	
7月25日	社会見学	花火を見ながら納涼天神祭り懇親会	なにわ	
8月4日	社会見学	なにわ淀川花火鑑賞会	北 摂	
9月14日	社会見学	岸和田だんじり祭り試験曳き	泉 州	
9月27・28日	一泊バスツアー	名古屋から伊良湖へ	支部協	

大阪支部協議会・歴代役員名簿

年 度	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
会 長	大庵芳運	大庵芳運	鷺谷 憲	鷺谷 憲	鷺谷 憲	鷺谷 憲	鷺谷 憲	鷺谷 憲	鷺谷 憲
副 会 長	鷺谷 憲	鷺谷 憲	松山 誼数	松山 誼数	松山 誼数	松山 誼数	松山 誼数	松山 誼数	松山 誼数
	小林 保	小林 保	植村正和	植村正和	植村正和	植村正和	植村正和	植村正和	植村正和
	神田トミ子	神田トミ子	木村敏子	木村敏子	木村敏子	木村敏子	田伏ノブ子	田伏ノブ子	田伏ノブ子
			太口昭一	太口昭一	太口昭一	太口昭一	太口昭一	太口昭一	太口昭一
			古布 充	古布 充	廣道 襄	廣道 襄	廣道 襄	廣道 襄	廣道 襄
					森川伊津美		大串チエ	大串チエ	大串チエ
事務局長	田宮 勇	田宮 勇	小林 保	小林 保	小林 保	小林 保	小林 保	小林 保	小林 保
事務局次長	松山 誼数	松山 誼数	大橋善一	大橋善一	大橋善一	大橋善一	森川伊津美	森川伊津美	森川伊津美
	西田好史	西田好史	高瀬泰幸	高瀬泰幸	南出正明	南出正明	浅利哲夫	浅利哲夫	杉本伸二
幹 事	玉谷康彦	玉谷康彦	玉谷康彦	田中康夫	古布 充	古布 充	古布 充	古布 充	古布 充
	磯川 涉	磯川 涉	田中康夫	満塩静夫	田中康夫	田中康夫	大橋康子	大橋康子	大橋康子
	木村敏子	木村敏子	満塩静夫	山田忠夫	佐々木鳴美	佐々木鳴美	前中良介	前中良介	前中良介
	古布 充	古布 充	山田忠夫	大串チエ	山田忠夫	山田忠夫	山田忠夫	山田忠夫	山田忠夫
	大串チエ	大串チエ	大串チエ	森川伊津美	大串チエ	大串チエ	谷口次作	谷口次作	谷口次作
	大橋善一	大橋善一	森川伊津美	田中 豊	田伏ノブ子	田伏ノブ子	川崎孝子	川崎孝子	川崎孝子
	田中 豊	田中 豊	田中 豊				加戸幸男	加戸幸男	加戸幸男
	佐々木鳴美	佐々木鳴美	佐々木照子				仲宗根 功	仲宗根 功	仲宗根 功
	丸山嘉子	丸山嘉子							
	植村正和								
会計監査	植村正和	植村正和	上田 収	上田 収	上田 収	上田 収	上田 収	上田 収	上田 収
	佐々木照子	佐々木照子	厨子芳枝	厨子芳枝	厨子芳枝	厨子芳枝	厨子芳枝	厨子芳枝	厨子芳枝
	上本紀代美	上本紀代美	上本紀代美	今城千加子	池尻泰顕	池尻泰顕	池尻泰顕	池尻泰顕	池尻泰顕
顧 問			大庵芳運	大庵芳運	大庵芳運				

支部協の活動 ア・ラ・カルト

- ① 平和への発信
- ② ボランティア「愛の家」
- ③ グラウンドゴルフ・支部大会と近畿大会
- ④ 幅広い文化活動
いきいき講座
文化祭・カルチャー教室・サークル活動
- ⑤ ウォークラリーとスタンプラリー
- ⑥ 会報「摂河泉OB」
- ⑦ 多彩なイベント
支部協主催のイベント
ブロック主催のイベント

支部協発足10年という浅い歴史であるが、5,000人という大人数の組織であるだけに、試行錯誤しながら会員とのコミュニケーションを図ることを軸にしながら大阪支部協としての特色ある活動を企画してきました。その成果はともかく、全国交流集会でも支部協活動について発表し、注目を浴びた面もあります。

ここでは活動テーマごとに「いきいき講座」以外は写真を主としてまとめました。



2005年1月27日 ピースおおさかにて
平和研修会を開催 各平和担当54名参加
折鶴運動と献鶴ツアーはこの時に
動き出した

平和への 発信

2005年8月 広島第1回 青春18切符で
皆さんの折鶴10,000羽持参 30名参加



2006年8月 広島第2回 夜行バスで 23名参加(左)
長崎第1回 新幹線で 5名参加(右)
皆さんの折鶴21,000羽持参

2006年11月
ピースおおさかへ献鶴折鶴3,000羽



2007年8月 広島第3回 貸切バスで 25名参加(左)
長崎第2回 二泊三日新幹線で 6名参加(右)
皆さんの折鶴27,000羽持参



松木広島県
支部協議会会長



献水



広島(第3回) 平和記念公園
原爆の子の像前



長崎(第2回)
長崎平和公園
電気通信労働者慰霊碑



一般の方からも折鶴が……

- ★東京八王子市立・館小学校3年生一同
- ★大阪市都島区 広島出身のSさん
- ★静岡県伊東市・Tさん(リハビリを兼ねて)

工房みさき
利用者と「のぼり作業」



2005年10月 愛の家運動会

2006年2月
ソメイヨシノ7本
八重桜5本を植樹
泉州ブロック



真夏の運動場の清掃作業

ボランティア 愛の家

2003年からはじめた愛の家
ボランティア。訪問は毎年
300名を超える。

毎年12月の餅つき大会



あんころ餅を手づくり



アユの掴み取り



農園を開墾（定期訪問日）



2006年7月
民謡と踊りサークル
夕涼み会で河内音頭を披露



2005年
大正琴サークル
愛の家定期演奏会

グラウンドゴルフ・支部大会と近畿大会

2005年11月1日

第1回大阪支部協ブロック対抗グラウンドゴルフ大会

開催場所：大阪市蒲生公園 参加 36名

成績：団体優勝 泉州ブロック

個人優勝 山本壽雄（北摂）



2006年9月11日

第2回大阪支部協ブロック対抗グラウンド
ゴルフ万博大会 参加 46名

開催場所：万博記念公園運動場

成績：団体優勝 河内ブロック

個人優勝 山本慶一郎（泉州）



2007年6月5日

第3回大阪支部協ブロック対抗グラウンド
ゴルフ万博大会 参加 50名

開催場所：万博記念公園運動場

成績：団体優勝 泉州ブロック

個人優勝 山本慶一郎（泉州）



2006年10月13日

第1回近畿ブロックグラウンド
ゴルフ万博大会 参加 132名

開催場所：万博記念公園運動場

成績：団体優勝 山城A（京都）

個人優勝 河辺四郎（泉州）



今日までの変遷

- 2003年10月8日 泉州ブロックグラウンドゴルフ同好会発足 会員数13名（内経験者1名）
 - 2003年10月 同同好会大阪支部協議会サークルに認定
 - 2004年中 なにわ・北摂・河内各ブロック内に相次いでグラウンドゴルフ同好会が誕生
 - 2005年11月 第1回大阪支部協議会ブロック対抗グラウンドゴルフ大会を蒲生公園で開催
 - 2006年5月 近畿ブロックグラウンドゴルフ担当により近畿大会開催を決意、各会長の承認を得る
 - 2006年6月 近畿ブロックグラウンドゴルフ実行委員会を開催、近畿大会の幕開け
 - 2006年9月 第2回大阪支部協議会ブロック対抗グラウンドゴルフ万博大会を開催
 - 2006年10月 4ブロックを一つにした「友遊会」が発足
 - 2006年10月 第1回近畿ブロックグラウンドゴルフ万博大会を開催
 - 2007年6月 第3回大阪支部協議会ブロック対抗グラウンドゴルフ万博大会を開催
- ※各種大会の設営準備および運営は「友遊会」の協力による

幅広い文化活動

いきいき講座

支部協発足時は学習交流会として単発型の学習講座を行ってきましたが、2000年度から「いきいき講座」と呼称し、年間を通しての定期型学習講座に変更しました。加えて、今までテルウェルが行ってきた講座がなくなったこともあり、「いきいき講座」は開催回数の増加と併せて、内容も屋外講座や落語・浪曲、また、テーマ・講師陣を多彩化し、毎年100名を超す受講生があり、支部協の文化活動の中心的役割を果たしています。

年 月 日	講 座 テ ー マ	講 師
2001. 5. 8	「医療保険の現状と課題」	連合中央生活福祉局：松永 茂樹
	「年金者の経済」	三菱信託銀行：山本 壽雄
7.10	「動脈硬化の予防法」－高齢者の運動生理	NTT中央健康管理所センター副所長：竹村 芳
	「いつまでも青春」－健康な体とところを作る	日本3B体操協会認定師範：五本上清美
9.11	「講演と落語」	落語家：露の都
	「日本と中国の心の歌」	元上海歌劇団歌手：李 広宏
2002. 3.20	「時事問題」	国際フリージャーナリスト：佐藤 巧二
	「大阪の食文化」	天満宮文化研究所：近江 晴子
4.17	「園芸の楽しみ」	日本セカンドライフ協会講師：田宮 勇
	「人と自然の共生」	NPO自然と緑の会：石原 忠一
6.19	「中高年の健康管理」	谷口クリニック院長：谷口 敏雄
	「トークと落語」	落語家：笑福亭学光
8.21	「遺産相続について」	三菱信託銀行：嶋田 幸生
	「介護保険制度の現状と課題」	あいハート須磨施設長：畑野 守
10.16	「マジックショー」	リチャード・シブヤ
	「美空ひばりの世界を歌う」	久間 勝代
	「歌謡ショー」	クラウンレコード歌手：林 健二
2003. 3.19	「大阪天満宮の発展と大阪商人」	天満宮文化研究所：近江 晴子
4.16	「自然と共生」箕面公園・明治の森	NPO自然と緑の会：石原 忠一
5.21	「中高年の運動」	日本野球連盟理事：原田富士雄
	「生涯発達のための教養」	大阪産業大学学長：瀬島順一郎
6.18	「中高年の予防法」	医誠会病院循環器科部長：白坂 明広
	「中高年の健康体操」	5UP体操マネジメント：五本上清美
7.16	「視覚障害者に対するボランティアの心得」	河内長野市視覚障害者福祉会：田村会長
	「日本の経済」	大阪産業大学：勝田入試センター長
8.20	「時事問題」	参議院議員：内藤 正光
	「地方史の研究」	京都SYY大学講師：山本 真嗣
9.17	「今城塚古墳を訪ねて」	高槻市埋蔵文化財調査センター：宮崎技師

年 月 日	講 座 テ ー マ	講 師
2003.10.15	落語・浪曲	林家 染雀・幸いってん
	歌謡ショー	キングレコード歌手：北沢ともみ
2004. 3.18	年金と税金	公認会計士：尾立 源幸
4.15	「自然との共生」大阪府立水産試験場	NPO自然と緑の会：石原 忠一
5.20	「最近の政治問題」	参議院議員：内藤 正光
	「大阪の街と交通」	前大阪高退会会長：花房 信夫
	「してもらいたい文化」	大阪産業大学学長：瀬島順一郎
6.17	「国立民俗学博物館」	見学
7.15	「介護保険を中心とした国会活動」	衆議院議員：山井 和則
	「健康太極拳」	茶木 康晴
8.19	「国際問題」	大阪産業大学教授：岩本 勲
	「最近の上方芸能」	雑誌『上方芸能』編集長：森西 真弓
9.16	「中高年の健康」	谷口クリニック院長：谷口 敏雄
	「占いについて」	松本サダ子
10.21	「マジックショー」	重村 佳信
	「落語」	落語家：露の都
	「歌謡ショー」	センチュリーレコード歌手：花木 優
2005. 3.10	「N T T労働運動と退職者共済活動」	元中央本部執行委員長：梶本 幸治
4.12	「狭山池博物館と野鳥を尋ねて」	現地ボランティア
5.12	「中高年の健康」	谷口クリニック院長：谷口 敏雄
	「心は実在するだろうか」	大阪産業大学学長：瀬島順一郎
6. 9	「健康で長生きするために」	健康開発総合研究所：青樹所長
	マツケンサンバⅡ・江州音頭・河内音頭	支部協サークル「日本民謡を踊ろう会」
7.14	「琵琶湖の水問題」屋外学習	NPO自然と緑の会：石原 忠一
8.11	「最近の上方芸能」	雑誌『上方芸能』編集長：森西 真弓
	「森林の再生を求めて」	衆議院議員：肥田美代子
9. 8	「レジームチェンジ」	大阪社会運動協会顧問：柴田 範幸
	Arpaトークショー	Arpa
10.13	「マジックショー」	重村 佳信
	「歌謡ショー」	花木 優&松川 一也
2006. 3.14	開講「記念講演」	連合初代会長：山岸 章
4.12	「昔の大阪の街探索」講演と屋外講座	天満宮文化研究所：近江 晴子
5. 8	「オルゴール演奏」	中西 明
	「健康のための食生活」	N T T大阪病院栄養管理室：藤田・中前
7.12	「間違いだらけの教育論」	大阪産業大学学長：瀬島順一郎
	「文楽の楽しみ方」	雑誌『上方芸能』編集長：森西 真弓

年 月 日	講 座 テ ー マ	講 師
2006. 8. 4	文楽鑑賞「夏祭浪花鑑」「連獅子」	国立文楽劇場
9.14	「政治問題」	参議院議員：内藤 正光
	「健康トーク」	善家 佳子
10. 4	サークル発表・歌謡ショー・腹話術とお笑い	ミーコ&松川 一也、松本 捨吉
2007. 3.20	「開講記念講演」	N T T労組退職者の会中央協：内堀会長
4.17	健康問題	健康管理センター：小川 勉
	時事問題	参議院議員：尾立 源幸
5.15	暮らしとお金	野村證券証券学習開発課：須永次長
	日本の旅	日本旅行：寺田支配人
6.19	マジックの心理―一人は何故騙されるのか	大阪産業大学教授：瀬島順一郎
	日韓文化の違い	信愛女学院講師：保坂 光男
7.17	古典芸能	雑誌『上方芸能』編集長：森西 真弓
	教育問題	大教組：小橋 今
8. 7	文楽鑑賞「鎌倉三代記」「釣女」	国立文楽劇場
9.18	大阪の町 探訪	森田 兼夫
10.15	天満天神「繁昌亭」観覧	修了式



山岸初代連合会長



屋外講座 自然との共生



屋外講座 大阪の街探索



大阪産業大学 瀬島学長



梶本元中央執行委員長



歌謡ショー



山崎滋賀県支部協会長と江州音頭



マツケンサンバⅡ



健康開発研究所 青樹所長

2005.6.9のいきいき講座「健康で長生きするために」は近畿6支部協共催で講師を呼び、各支部協からも参加。あわせて大阪支部協サークル民謡を踊る会と鷺谷会長扮するマツケンサンバⅡと山崎滋賀県支部協会長の江州音頭による踊りも披露された。

文化祭・カルチャー教室・サークル活動

いきいき講座のように1回限りの講座でなく、何回かの連続受講となる教養講座として、2004年4月から開催されたカルチャー教室は、韓国語・英語教室・水墨画・マジック・料理・パソコン・自然観察・先輩の話を聞くなどの講座を開きました。

また、支部協初めての催し物としての文化祭はいきいき講座と合同で開催され、500人を超す参加者があり、プロ顔負け（プロもおられました）の力作ぞろいの余技作品を鑑賞、また、サークルの舞台発表（大正琴、5UP体操、ヨーガ、カラオケ、詩吟、日本民謡を踊る）、さらにいきいき講座の「腹話術とお笑い」「歌謡ショー」、締めくくりには豪華賞品の大抽選会と、一日を堪能しました。

7サークルから出発したサークル数も13に増え、各サークルともそれぞれ活発に活動されています。なかでも踊る会は徳島など他地域の行事にも参加し、全国交流集会では参加者がサークルのハッピー姿で河内音頭を披露、大正琴サークルはボランティアでの施設訪問、5UP体操は独自の音頭を作るなど、特色ある活動が行われています。

文 化 祭

—— サークル舞台発表といきいき講座 ——



大正琴サークル



5UP体操サークル



ヨーガサークル



詩吟サークル



民謡踊りサークル



カラオケサークル



歌謡ショー



腹話術とお笑い

—— 出品された会員の余技作品 ——



カルチャー教室



韓国語入門



水墨画教室



自然観察教室



男の料理教室



パソコン教室



マジック教室

サークル活動



囲碁サークル



5UP体操サークル



カラオケサークル



和紙人形サークル



民謡踊りサークル



大正琴サークル



詩吟サークル



ヨガサークル



古代史サークル



書道サークル



テニスサークル



グラウンドゴルフサークル



ゴルフサークル

ウォークラリーとスタンプラリー

N T T 労組大阪総支部の山田執行委員長も触れておられるウォークラリーは現在も続けられている5月のイベントで、会員に5月の毎日の歩行数（万歩計で計測）の記録を、感想文をつけて送付してもらい、送付者には記念品をお渡ししています。2003年の記録では最高年齢87歳、1位は8,277キロでした。しかし記録を争うものではありません。

また、期間中にスタンプラリーを大阪近辺の公園などで催しています。

—— スタンプラリー風景 ——



万博公園で出発地点での説明



次のスタンプ箇所はどこかな



今日は服部緑地公園で開催



横列歩きはマナーが悪いぞ



完走賞のビールがうまい

ウォークラリーの記録報告の感想文もいろいろです。川柳、俳句もありました。

（千柳・万柳）

追いかける 孫に追いつかぬ
年となり （河野 勝二）

散歩中の1句

雨近し 地面こするや

燕2羽 （長田 正紘）

会報「摂河泉OB」

会報「摂河泉OB」は当初の年4回発行から6回に増加し、通算17号（2001年12月15日付）からA4版からA3版に変更し、横書きから縦書きにスタイルを変えました。支部協結成以来、会員とのコミュニケーションの手段と位置づけて全会員に直送（現在は一部地域で役員による手渡し配布）しています。



A4版での「摂河泉OB」



A3版での「摂河泉OB」

多彩なイベント

支部協の会員が顔を合わせ交流するのは、役員以外はイベントやサークルの時しかありません。それだけに支部協としては、会報活動とイベント活動に重点を置いてきました。そのイベントも活動の軸足を地域ブロックへ移行してから回数も増え、内容も多彩になってきました。実施してきた毎年のイベント内容は、前段の記録で掲載しました。

支部協主催のイベント

一泊旅行

支部協主催のイベント、一泊旅行で印象に残るのは2003年10月の結成5周年記念の「富士山・河口湖温泉」旅行と2004年9月の「道後温泉としまなみ海道」旅行です。

記念旅行は153名という大人数の参加者でにぎわいました。

道後温泉の旅行は台風が四国へ上陸との予報があったが決行しました。途中まではよかったのですが、その後雨脚は強くなり、ついに道路が水没し立ち往生の状態となり、行くも帰るも道路は通行止め、コンビニの握り飯を食べながら待機、どうにかバスが動き出し道後温泉へ着いた時には日付が変わっていました。それでも旅館の従業員は待っていて出迎え。宴会とはならなかったが夜の料理をすませ、温泉でひと浴び。翌日のしまなみ海道への旅行はまさに台風一過の晴天のなか帰阪しました。

—— 5周年記念旅行「富士山・河口湖・忍野八海」(2003年10月1・2日) ——



富士を背景に



宴会場で仮装踊り



富士の湧き水 忍野八海

—— 「道後温泉としまなみ海道」旅行 (2004年9月29・30日) ——



深夜の旅館にて



しまなみ海道の耕三寺



台風一過のしまなみ海道



加賀百万石博と山代温泉（2002年6月24・25日）



新穂高温泉と乗鞍岳（2005年10月5・6日）

ブロック主催のイベント

日帰りバスツアー



社会見学



ハイキング



あとがき

10周年記念誌の作成は会報「摂河泉OB」編集委員の担当と決まりました。資料としては、定期総会の議案書・会報・常駐日誌です。しかし、退職者の会という活動は、現役の組合のように激しい動きがあるわけではなく、日常の活動の主たる業務は、退職者共済とイベント、会報の発行であり、いわゆるその年の特徴的な問題が少なく、何を話題にすればいいのかという悩みがありました。

幸い大阪支部協では地域ブロックへの移行という結成以来の課題への取り組みがあったこと、イベントについても「いきいき講座」など他支部協にはないものがあったこと、また、3年と歴史は短いですが、ヒロシマ・ナガサキへの献鶴という平和運動に取り組んだことやホームページの開設、さらに、各ブロックによる創意を凝らした特色あるイベントが行われたこと、等々から年代ごとに変化をもたせることがどうにかできたと思います。しかし、案外ありそうでないのが写真です。最近の写真はあるものの、古い写真はあるようではありません。時間があれば広く呼びかけて収集できたかもしれないのですが、やむなく会報の写真を使用し、鮮明さに欠ける写真となったものもある点はご了承ください。

歴史から学ぶという視点から見れば、本来ならこの10年の社会の動きを併記し、その動きとのかかわりなども触れるべきかと思いましたが、限られた紙面と短期間での作成ということで記載できませんでした。そのような点から運動史というものにはならなかったと思いますが、「ああ、こんなこともあったな」という思いを少しでももってもらえれば幸いという視点で、編集委員一同取り組みました。10年という一通過点の記録ですが、次につながるものとなれば幸いと思います。

2007年10月

編集委員 小林 保
松山 諠数
植村 正和
廣道 襄
森川伊津美

NTT労組退職者の会
大阪支部協議会「10周年記念誌」
2007年10月発行
発行責任者
NTT労組退職者の会
大阪支部協議会 会長 鷺谷 憲
大阪市福島区福島3-17
コミュニティープラザ大阪内
印刷所 原多印刷株式会社